

日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書

核兵器禁止条約を交渉する国連会議は7月7日、核兵器禁止条約を国連加盟国の三分の二にあたる122か国の賛成で採択され、人類史上初めて「核兵器のない世界」への歴史的一歩を踏み出した。

しかし、この会議に、唯一の戦争被爆国の日本政府は核保有国と歩調を合わせ参加しなかった。

核兵器が再び使われかねない危うい状態が続いている今だからこそ、核兵器の悲惨さを知る唯一の国の政府として、署名が開示される9月20日以降いち早く調印し、国会での批准を経て条約に正式に参加することを強く求めるものである。

記

- 1 日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名すること。
- 2 衆議院・参議院の両院ですみやかに核兵器禁止条約を批准すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年9月28日

岩手県住田町議会

議長 菊池 孝

様

意見書を提出する機関

衆議院議長 大島理森様

参議院議長 伊達忠一様

内閣総理大臣 安倍晋三様